

いずみ

泉会事務局
〒157-0076
世田谷区岡本二丁目33番23号
TEL 03(5429)6721(代)
FAX 03(5429)6722
info@izumikai.jp
https://izumikai.jp/

6

2022

社会福祉法人 泉会

本
年
度
の
聖
句

あなたがたの天の父は、求める者に良いものをくださるにちがいない。
だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。

「マタイによる福音書」第7章11節～12節



泉の家
桜満開・笑顔満開！


 永遠の生命について

理事長 齋藤 金義



「一粒の麦地に落ちて死なずば、ただひとつにてあらん、もし死なば多くの実を結ぶべし」この言葉はヨハネ伝第12章24節の有名な箇所である。この麦の喩は、勿論イエス・キリストの復活を示している。私事であるが今年3月に父が帰天した。101歳の長寿であった。晩年は老衰となり、身体が自由な中、2年以上、寝たがりの生活を余儀なくされた。最後まで頭はしっかりしていた。耳は不自由であったが、自力でトイレに行き、食事も亡くなる2週間前までは自分で食していたから、大往生であったと思う。老衰で頭がしっかりしていると、身体が不自由なだけに、生きていることが辛く、「情けない」という言葉が口癖となった。確かに、不自由な身体で生き続けることは、元気で何でも出来ていたこととの比較において、情けない気持ちになることは理解できる。その父の肉体は塵に帰った。もう情けないことは何もない。今は父との懐かしい思い出の数々がこみ上げてくるばかりだ。その度ごとに、ヨハネ伝のこの御言葉を思い起こす。人の命には限りがある。が、しかし、愛し合った者との間には、その死をとうして永遠の生命の灯が蘇る。それは復活のイエスが共に居てくださり、蘇りを生きていることと相似ている。愛する親しい者を失ってこそ、初めて体得できるものがある。死んだらそれで終わるのではない。死んだからこそ多くの実を結ぶことがあるのだ、と深く思う。

ニーズの多様化への対応

利用者の希望する生活が安心して送れるように、利用者の変化や要望、事業所からのサービス提供状況を把握し、他機関と連携しながら各サービスの支援計画の調整を図っていきます。

経営目標

- ・相談支援専門員のスキル向上と、合理的配慮や意思決定支援についての理解を目的とした所内研修を定期的に行います。

■特定相談支援

サービス等利用計画書の作成等

地域との関わりを大切に

職員がいきいきと働いて、働き甲斐のある職場になることで、職員の定着はもちろん利用者支援の質の向上にもつなげていきます。今まで積み重ねてきた出張販売や創作活動を通して、利用者が地域の方々と関わる機会を大切にします。

経営目標

- ・書類や業務の整理を行います。
- ・事業継続計画(BCP)の見直し、策定を行います。

■生活介護(定員20名)

創作活動、運動、余暇活動

■就労継続支援B型(定員30名)

パン、水耕栽培、カフェ営業等

それぞれのリズムで生活できるように

夜間に一人勤務となることも多い環境のため、実行性のある緊急時対応マニュアルとなるよう見直しを行います。また、利用者が職場や通所先に毎日元気に通えるよう、それぞれが構築してきた生活リズムを大切にしていきます。

経営目標

- ・利用者全員分の対応個別フローを作成します。

■共同生活援助(定員8名)

健康管理、身の回りの介助等

事業計画

多様化する地域課題に対応

利用者自身が希望する生活を送れるよう、サポートします。また、必要に応じて利用者自身はもちろん、ご家族などご本人を取り巻く環境の課題に対しても、関係機関等と連携を図りながら支援を行います。

経営目標

- ・現在関わりのある関係機関との連携を更に深めるとともに、サービスや分野に関わらず、新たな事業所等との関係構築を積極的に進めます。

■特定相談支援

サービス等利用計画書の作成他

活動の充実と情報の発信

障がい・施設理解のための情報発信や地域との取組みを、感染対策を講じながら行っていきます。活動を自粛する場合がありますが、職員一人ひとりが、安全・安心と同時に利用者中心の支援を考え構築していきます。

経営目標

- ・コロナ禍の活動充実を目的とした本園と分場合同企画を実施します。
- ・より効果的なモニタリングや、充実した個別支援計画作成・実施のために、新たなアセスメントシート書式を整備します。

(岡本福祉作業ホーム)

■就労移行(定員6名)

就労に向けての活動

■就労継続支援B型(定員10名)

受託作業・自主生産品・仕入れ販売

■生活介護(定員24名)

作業・創作活動

(岡本福祉作業ホーム玉堤分場)

■就労移行(定員6名)

就労に向けての活動

■就労継続支援B型(定員13名)

クッキー製造・販売

社会参加と自由と自立

利用者が泉会の経営理念を実現するような人として活躍できるよう、利用者と共に事業展開し、地域の福祉に係わり、地域の活性化のために協力します。

経営目標

- ・就労移行や地域生活での自立など、社会参加に向けた利用者と職員の検討会を設け、感染症にも対抗する事業戦略を考えます。アンケート調査で仕事や安全衛生について共に考え、利用者の運営参加を促進します。
- ・利用者広報係と共にインターネットでの事業発信をするなど、役割活動を通じ、生活世界の拡大に取り組み、社会生活力の向上につなげます。

■就労継続支援B型(定員20名)

木工、受託作業、送迎支援等

利用者の『自律』した生活をサポート

「利用者自身が考え決めていく」ということを基本にしつつ、利用者が『自律』した生活を送れるよう、支援をしていきます。また、新型コロナをはじめとした感染症などの病気や転倒などによるケガを予防し、利用者がみな元気で生活を送っていけるよう努めます。

経営目標

- ・研修計画を基本にしつつ、時々必要性にも柔軟に対応した勉強会を年間最低12回実施します。
- ・第三者評価の利用者の総合的な満足度において、少なくとも5名以上の『大変満足』『満足』の評価をいただきます。

■共同生活援助(定員6名)

健康管理、食事の提供、身の回りの介助等

法人事務局体制の強化

法改正等により、義務化や罰則される諸規程類なども多く、適正に対応することが求められています。不在となっていた事務局長の配置をします。また、法人機能を監視する監事の補佐役のポストを新設しました。法改正等を遵守すると共に、事業所を利用していただく障がいのある方々が、本人や家族が求める生活や活動ができるように取り組みます。

経営目標

- ・職員の質を高め、魅力ある法人組織運営をします。
- ・IT技術の活用を具体的に検討し進めていきます。

地域福祉へのより一層の貢献をめざして

世田谷区の障がい者ニーズに対応できるよう、長年利用のなかった就労移行を廃止し、生活介護の定員を6名増員しました。コロナ禍での感染防止対策継続と共に、メンタルヘルスケアに取り組みます。

経営目標

- ・職員、利用者へのメンタルヘルスケアに積極的に取り組みます。
- ・栄養や感染症について利用者と共に学べる機会を提供します。

■生活介護(定員26名)

レクリエーション・創作・ストレッチ・音楽等

■就労継続支援B型(定員25名)

受託作業・カフェ営業・煎餅・犬用クッキー等

■短期入所(定員3名)

感染予防と基礎体力の維持向上

コロナ禍による外出の制限などが生活に大きな影響を及ぼしています。感染症への対策はしっかりと継続しつつ基礎的な体力の維持向上、精神面のケアなど行っていきます。

経営目標

- ・新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ利用者のADLの維持向上をはかります。
- ・危険個所の再点検を行いその対策をリスクマネジメント委員会で検討、現場にフィードバックします。
- ・虐待防止委員会、人権研修等を行い職員の意識向上をはかります。

■施設入所支援(定員45名)

入浴、排せつおよび食事介助等必要な介助

■生活介護(定員55名)

創作的活動、運動等必要な介助、通院支援等

■短期入所(定員2床)

入浴、排せつおよび食事介助等必要な介助

世田谷エリア施設だより

泉の家

園芸活動本格始動!!

小林 優夏

生活介護では現在園芸の活動を行っています。何の野菜を植えるかみんなで話し合うところからスタートしました。話し合いだけでなく、植え付け、肥料撒き、水やり、収穫まですべて利用者で行いました。それぞれ行ったら成長日記ポスターを作り、フロアに飾ってどんどん大きく成長していく様子を楽しんでいました。プランターの近くを通ると「元気かな?大きくなあれ」と野菜に声をかけてくれる利用者もいました。

また、3月にはカリフラワーを収穫しました。プランターを見るたびに大きくなっていくカリフラワーに、みんないつ収穫できるかな?とワクワクしていました。そしていざ収穫してみるとびっくり!自分の顔より大きく育っていました。スーパーに売っていて

もおかしくないくらい立派なカリフラワーでした。
今はジャガイモを植えています。たくさん収穫できたら、調理実習で自分たちで育てた野菜を使った料理を作りたいと思っています。



岡本福祉作業ホーム

クラフトフェスティバル!

加藤 実由香

2021年度の旅行行事はコロナ禍のため中止となりましたが、代わりに施設内で楽しいイベントはできないかと、ワークショップイベントを計画しました。イベントの名前はクラフトフェスティバルとし、お祭りのような楽しい雰囲気をめざしました。

利用者の方々には3チームに分かれていただき、2つの体験を順番に行っていただきました。1つはジェルキャンドル作りで、皆さん先生に教えていただきながら、真剣に作品作りに取り組まれていました。もう一つは、キャンディアートを目の前で作っていただく体験です。100種類以上のメニューからモチーフと味を選

んでいただき、キャンディアーティストさんとお話ししながら目の前で作っていただきました。どちらの体験も、「またやりたい!」「何かを作るのは楽しい」などたくさんお声掛けいただきました。コロナ禍でリモートイベントも増えましたが、実際に触れて体験する楽しさを再確認できたイベントでした。



岡本福祉作業ホーム 玉堤分場

全員で調理実習に挑戦!!

上原 優和

事業計画の目標として掲げている調理実習を3月11日に実施しました。全員で行うのは、今年度初めての試みです。メニューは、カレーライス(お米はアルファ米を使用)、コンソメスープ、いちごのフルーチェ。事前のアンケートで、カレーの辛さやこのメーカーを使うかなど皆の意見を聞き、それをもとに決定しました。

1週間前にグループワークを行い、役割分担や工程の確認をしました。皆で話し合って、模造紙に書き出していくうちに、盛り上がり、楽しく活動されていました。自分たちで考え、決めるといったグループワークはとても良かったです。前日は、近くのスーパーに買い出しに行き、必要な材料を揃えました。

当日は、グループに分かれて、調理スタート!いつもは見られない面が沢山あり、驚きました。個々に役割分担をこなし、包丁やピーラーなどの調理器具もしっかり使いこなしていました。

なによりチームワークが素晴らしかったです。皆で協力し合い、作ったご飯は最高に美味しく、感動しました。食後は、写真を見て振り返りをし、グループごとに感想を発表してもらいました。コロナ禍であります、1日を通して楽しく、安全に調理実習を実施することができ、本当に良かったです。



日の出エリア施設だより

日の出舎

芋煮会開催

有田 直樹

今回の芋煮会は職員の発案で、郷土料理を利用者に、美味しく、楽しく味わって頂くために開催したイベントです。前日には入所の利用者が中心となり材料のサトイモや、長ネギを水で洗うなど、最初から作る工程に参加して頂きました。当日は午前午後に分かれ、通所と就労の利用者で、下準備のサトイモの皮むきと長ネギを切る作業を行いました。皮むきは悪戦苦闘しながらも、なんとか上手にむくことができて嬉しそうでした。長ネギを切る際に目に染みて涙を流す利用者もいました。当日は予報どおりの雨だったので、万全なコロナ対策がなされた中、1Fのデイルームにて山形の雰囲気を感じられる音楽や映像をバックに、芋煮を美味しく食べておられました。利用者のたくさん笑顔が見られ、楽しんでいたのが今回の企画は大成功でした。

温まる~



就労日の出舎

木工作业B班一周年!!

影山 和美

多摩産材などの木材活用の需要が高まり、今までの作業班だけでは生産が追いつかなくなったため、木工作业(B班)を立ち上げてからこの春で一年が過ぎました。受託作業から木工に移ってきた利用者の磨きの腕前もめきめき上がり、事業所全体の生産性の向上や、技術力の底上げを図ることができました。今は桧の箸やコースターの注文が沢山入ってきています。

利用者(工藤彩里)さんの声

木工B班室は広く、ウォーカー(歩行器)や車椅子で入り、作業することができます。落ち着いた環境なので、和気あいあいとしながらも黙々と作業をすることができます。

皆さん集中して



作業されています

世田谷エリア施設だより

コイノニアかみきた

入所式

木村 賢幸

4月1日、コイノニアでは4回目となる入所式が行われました。今年も新たに就労継続支援B型、生活介護共に2名の方が入所され、生活介護は定員の20名を満たすことができました。

入所式では、先輩利用者がダンスで新規利用者をお出迎え。笑顔いっぱいの方や、真剣な表情の方...表情は違えども、新しい方を迎えるために皆さんとても一生懸命に取り組まれました。

新しい風が吹き込んだコイノニアがどう変化していくのか、とても楽しみです!

新しい方を



ダンスで迎えました!

退任
あいさつ

施設長退任のご挨拶

高木有己



2022年3月で定年となり、この挨拶文で固有名について悩みました。日の出町の宮岡町長をはじめ歴代の町長や自治会の方々、青年部の皆さん、関係機関の方、そして施設の利用者や職員の名前をここに挙げて、いまあるのはだれのおかげで、どれほどご恩があるかを伝えなかったからです。自分は福祉的な人間ではありません。お給料は税金なので、それにふさわしい仕事で関係者の恩義に応えること、それだけです。たぶん社会福祉の営みは普遍的な経済の系に属していますが、国際障害者年行動計画を知ったのは幸いでした。

佐伯元理事長は日の出舎の講演で「自分が学び得たものをすべて伝え、独り占めしない。自分のものを出し切ってゼロになったらまた学べばよい」と述べられました。これが泉会での私の指針でした。また橋向元理事長は経営理念を伝えられ、施設建て替えでも多大なご支援を賜りました。西田相談役



就任
あいさつ

事務局長就任のご挨拶

川島直子



私が泉会で仕事を始めたのは1996年でした。当時私には病弱な幼子が2人いて入院を繰り返していました。私の仕事は昼夜を問わない広告制作で仕事を続けるためにいつも母を呼び出してました。みんな疲れ果てていました。子供の成長は待つてくれず、その時間は取返しがつかないと気がきました。好きな仕事でしたが諦め、自宅近くで事務仕事を探し、幸いなことに岡本福祉作業ホームで働くことになったのです。

面接で初めて岡本ホームの玄関に入ったとき利用者の方々の視線がウエルカムだったのが印象的でした。今も変わってませんね。不思議なことに泉会の事業所は皆そうです。

後も新規事業への資金計画や人材確保・育成が重要です。努力していきます。出産・育児をしながら働ける環境や新卒職員への教育システム、泉会らしい支援ガイドラインづくりなど、時代に即して規程やルール、制度などを職員みんなで作り上げてきました。



その文化を大切に若い職員が持っている力やアイデア、デジタルなどの知識を発揮し福祉の概念を明るく導いてくれることを期待します。また、職員が泉会を好きになり良い支援につながるよう、事務局で下支えして行きたいです。

感謝

みなさまからの暖かいご寄付とボランティア活動に心よりお礼を申し上げます。
みなさまのお支えが私たちの力となっております。

物品寄付

- 小山内 恵満子 様
- 株式会社大塚商会 様
- 東京成城ロータリークラブ 様
- 日鉄物産ワイヤ&ウエルディング 様
- 馬場 ミカ 様
- 久光製薬株式会社 様

一般寄付

- 青山学院初等部 様
- 青山学院高等部 様
- 青山学院中等部 様
- 石田 敏彦 様
- 笠原 敏子 様
- 小峰 保行 様
- 佐藤 美和子 様
- 渋谷教会 様
- 聖ドミニコ学園中学高等学校 様
- 捜真学院 様
- 立原 美恵子 様
- 玉川聖学院 様
- 日本基督教団 砧教会 様
- 日本基督教団 鶴川北教会 様
- 日本基督教団 田園調布教会 様
- 日本基督教団 東京教区 西南支区 様
- 東洋英和女学院中高校 宗教委員会 様
- 日本聖話学校 様
- 拜司 美智子 様
- 立教女学院 様

ボランティア

- 池田 恵美子 様
- 小幡 仁 様
- 上村 尚子 様
- 川水流 泰輔 様
- 小泉 誠 様
- 小松 理枝 様
- 佐藤 あずさ 様
- 敕使河原 麻美 様
- 野澤 順子 様
- 舟橋 みつ子 様
- 村上 研二 様
- 村上 さなえ 様
- 山内 浩二 様
- 山本 光枝 様



岡本福祉作業ホーム
イラスト：榎原様 坂野様
文：坂野様

泉会感謝録(22年1月～22年3月、順不同・誤字等失礼がありましたら、ご連絡ください)

友の会会員募集

社会福祉法人泉会は、障害者総合支援法に基づく施設入所支援、就労移行支援、就労継続支援B型、生活介護、短期入所、相談支援・共同生活援助等の事業を運営しています。各事業所では利用目的に沿って、利用者の望む、自立した生活を送れるよう支援を行っています。

いづみ友の会は、地域利用者の生活の拡充とグループホームなど居住支援整備の後援をしています。また、泉会が社会貢献事業の一翼として、地域生活支援事業に積極的参入しているよう、バックアップしていきます。友の会では、泉会の事業にご理解くださり、募金活動にご協力いただける方を募集いたしております。何かと出費が多い折とは存じますが、自立を目指して日々努力している利用者の福祉を前進させるためにご支援をお願い申し上げます。個人・団体・法人のいずれでも結構でございます。

【振込先】

- 郵便振替 0110-19
- 口座番号 55841
- 加入者名 社会福祉法人 泉会後援会
- いづみ友の会

障がい者雇用の取組み

越川 則行

最初からお恥ずかしい話で恐縮ですが、泉会は2020年度時点で障がい者雇用の法定雇用率を満たしていない、とのご指摘を受けてしまいました。そこで「障がい者雇用ワーキングチーム」を立ち上げ、法人全体で取組みを始めました。ワーキングでは、現状解決だけではなく、障がいを持っている同僚がいることが当たり前の環境になるような働きかけを目指し話し合いを続けました。併せて、全職員対象にアンケートを実施して、実際の役割などイメージの共有を図るなどしたことで、自分たちの職場でどのような合理的配慮が必要なのか、改めて話し合い考える機会となりました。

2021年度に入ってから日の出エリアで先に1名の方の採用につなげ、後れを取る形になってしまいましたが、年が明けた後に世田谷エリアでも採用することができました。この当たり前の状況を継続できるように各事業所で環境を整えていきたいと思えます。

消毒中
(コインニア)



掃除中
(日の出舎)



行事

- 6月
 - 3日(金) 岡本ホーム
日帰り旅行
 - 3日(金)~5日(月) 日の出舎
すてきな日の出舎作品展
 - 10日(金) 岡本ホーム
日帰り旅行
- 7月
 - 9日(土) コイノニア
コイノニアまつり
 - 15日(金)~
8月26日(金) 玉堤分場
夏の工作教室
 - 23日(土) 日の出舎エリア
じゃがバター祭り
- 8月
 - 27日(土)~28日(日) 玉堤分場
納涼祭
- 9月
 - 3日(土) 泉の家・岡本ホーム
まるごとおかもと
Open the Door
 - 16日(金) 玉堤分場
日帰り旅行

販売会

- 6月
 - 18日(水) コイノニア
福音寮
 - 5日(日) コイノニア
ガーデニングフェア
 - 4日(土) 玉堤分場
テラス販売
 - 7日(火) コイノニア
小田急線販売会 梅ヶ丘駅
 - 8日(水) コイノニア
世田谷区教育総合センター
- 7月
 - 14日(火) コイノニア
うめとびあ販売会
 - 15日(水) コイノニア
福音寮
 - 15日(水) 玉堤分場
スカイキャロットの販売会
 - 22日(水) コイノニア
福音寮
 - 28日(火) コイノニア
小田急線販売会 梅ヶ丘駅
 - 28日(火) 玉堤分場
うめとびあ販売会
- 8月
 - 3日(水) コイノニア
福音寮
 - 6日(土) 玉堤分場
テラス販売
 - 7日(日) 泉の家・岡本ホーム
ふるさと区民まつり
 - 9日(火) コイノニア
うめとびあ販売会
- 9月
 - 2日(土) コイノニア
いっちょめパン土曜日営業
 - 2日(土) 玉堤分場
テラス販売
 - 6日(水) コイノニア
福音寮
 - 12日(火) コイノニア
うめとびあ販売会
 - 13日(水) コイノニア
世田谷区教育総合センター
 - 26日(火) 岡本ホーム
うめとびあ販売会
 - 3日(水) コイノニア
福音寮
 - 6日(土) 玉堤分場
テラス販売
 - 7日(日) 泉の家・岡本ホーム
ふるさと区民まつり
 - 9日(火) コイノニア
うめとびあ販売会

▼2022年度6月~9月予定表



【お知らせ】新型コロナウィルスの影響で記載の予定が変更や中止となる場合があります。また、恒例となっている行事につきましても、中止とさせていただいているものがあります。詳しくは、各事業所までお問い合わせ下さい。

編集
集
行
人

障
害
者
団
体
定
期
刊
行
物
協
会
東
京
都
世
田
谷
区
祖
師
谷
3
-
1
-
1
7
1
7
頒
価
五
十
円

法 人 本 部 泉 の 家
〒157-0076 世田谷区岡本二丁目33番23号
☎ 03(3417)3451(代) FAX 03(3417)3463
✉ izumi@izumikai.jp

岡 本 福 祉 作 業 ホ ム
〒157-0076 世田谷区岡本二丁目33番24号
☎ 03(3415)3366(代) FAX 03(3415)4976
✉ okamoto@izumikai.jp

相 談 支 援 セ ン タ ー お か も と
(岡本福祉作業ホーム内)
☎ soudan-okamoto@izumikai.jp

玉 堤 分 場
〒158-0087 世田谷区玉堤二丁目3番1号 B1F
☎ 03(5707)9431(代) FAX 03(5707)9433
✉ tamatutumi@izumikai.jp

コ イ ノ ニ ア か み き た
〒156-0057 世田谷区上北沢一丁目32番14号
☎ 03(5316)2251(代) FAX 03(5316)2252
☎ 03(5316)2254(グループホーム)
✉ koinonia@izumikai.jp

日 の 出 舎 就 労 日 の 出 舎 相 談 日 の 出 舎
〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番
☎ 042(597)1451(代) FAX 042(597)2205
✉ info@hinodesha.org

グ ル ー プ ホ ム の ゾ み
〒197-0804 あきる野市秋川二丁目3番1号
☎ 042(533)3608 FAX 042(533)3609

編 | 集 | 後 | 記

新年度、新しい仲間を迎え元気に日々を過ごしています。本誌を通して、皆様にも笑顔をお届けできればと思います。(岡本ホーム 加藤 実由香)